

『第三者評価に参加して～事業者からのコメント～』

たかみ BeBe

平成 29 年 4 月 1 日たかみ BeBe は開園致しました。この時期北九州市にも待機児童が存在していましたが令和元年には減少傾向になり、「元気発進！子どもプラン」の取り組みに大いに感銘を受けました。

このたび当園では、より良い保育の実現を目指し、第三者評価に参加させていただきました。

評価を受けるにあたり、日々の保育実践や園運営について改めて当園のあり方を客観的に見つめ直す貴重な機会になりました。

日々の保育実践において、当たり前のように取り組んできたことを丁寧に職員皆で見つめ直すことで多くの気づきや学びがありました。

特に子ども一人一人の人権を尊重する姿勢や、保育者としての専門性について再確認することができ、私たちの支援や関わりが、本当に子どもの視点に立っているかを問い直すきっかけとなりました。

言葉かけや環境構成、記録のあり方など日常にある小さな配慮こそが保育の質を高めていく大切な要素であることを再確認しました。

また、安全管理の体制や職員間の情報共有のあり方など、継続的な強化の必要性和大切さを実感しました。

さらに、子どもたちに小動物や植物への興味を広げていけるよう、取り組んでいきたいと思いました。

乳幼児期の養育が、後半になって人の生活に大きな影響を与えることが認識されてきています。

保育園としての役割を十分に果たせるよう、今後も子どもたちの最善の利益を最優先に、一人一人の育ちを支える保育の質の向上に努めていきたいと思っています。